



年度 10月	利用された 教員数 (部局外数)	41(1)	48(28)		
-----------	------------------------	-------	--------	--	--

図3

	工 作 部 門			職員数
	機械加工技術班		ガラス・木材 加工技術班	
	学校工場担当	特殊加工 技術開発室		
技術統括	1			1
技術長	1			1
班長	1	1	1	3
技術専門職員	1	1	2	4
技術主任	1			1
技術員	1	2	1	4
技術員(再雇用)	1			1
非常勤職員			1	1
計	7	4	5	16

図2

図4

(2) 実習・実験の技術指導・支援（教育支援）

学生実習については，工学部の工作実習，機械創成実習，輸送機器環境プログラム，理学部の一般化学実験（ガラス細工），化学実験（ガラス細工）の技術指導を行っており大型水槽では，実験の補助・支援も行っている．図5は，年間の実習日数を示す．また，それぞれの実習での完成品を図6で紹介する．

	機械加工技術班 学校工場担当	ガラス・木材加工 技術班ガラス
工作実習	60	
輸送機器環境 プログラム	12	
機械創成実習	10	
一般化学実験		16
化学実験		16
合計日数（年間）	82	32

図5

(3) 学生のものづくり支援

ものづくりの施設として工学研にフェニックス工房があり，学校工場担当が支援している．学生が自由にものづくりを可能にする施設であり，主に試験装置・機器及び試験片の製作，鳥人間のコンテストの部品の製作，大学祭の出展物の製作，また個人的趣味の工作物の製作にも利用されている．

学生の独創的なアイデアに基づく設計・計画をサポートする時間も多し．利用頻度の高い学生には，安全教育を実施して工作機械の基本的取扱いのみならず一歩踏み込んだ技術指導の講習会も実施している．また，特殊加工技術開発室担当では，工作を経験することにより設計に役立てることを目的として金属加工の講習会を開催している．図7は，施設の利用状況と講習会開催の状況を表す．

		学校工場担当	特殊加工技術開発
フェニックス工房 利用件数・時間	19年度		
	rPa*0		

(4) 学部公開行事の参画

機械加工技術班（特殊加工技術開発室担当），ガラス・木材加工技術班が大学祭での金属加工の提示，ガラス細工の実演をした．また，おもしろワクワク化学の世界'08広島化学展に参加してガラス細工の実演を行い，社会貢献と共にものづくりについて社会への発信に取組んだ．図8は，参加した時のパンフレットである．

